

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2） -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会	17,18,22,24,28,29,30, 51,52,54,55,56,58,66	<p>各種講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親学級(=妊産婦指導、妊産婦・1,790名参加、48回開催) ・母と子のふれあい講座(=育児講座:2歳児対象講座、2歳児とその親・252組参加、27回開催) ・夫立ち合いのための出産準備クラス(=夫が出産に立ち合う夫婦のための準備講座、当院で出産予定の妊婦とその夫・757組参加、60回開催) ・うさぎの会(=超低出生体重児の早期介入プログラム、対象児と家族・84組参加、12回開催) ・ビーンズの会(=出生体重1000g未満児の同窓会、当院誕生の対象児と家族・100組参加、1回開催) ・タッチケアクラス(=産後の母親・家族支援、乳児と両親・祖父母・341組参加、36回開催) ・マタニティピクス(=産前エアロピクス教室、妊婦・2,292名参加、190回開催) ・マタニティストレッチ&ヨガ教室(=産前のストレッチとヨガ教室、妊婦・1,677名参加、170回開催) ・アフターピクス(=産後のエアロピクス教室、褥婦・3,644名参加、326回開催) 母乳相談(=産後の母乳育児支援、1,209名参加) 妊婦健康相談:助産師外来(=助産師による健診・相談、1,790名参加) プレネイタルビジット(=出産前小児保健指導、6名参加) 思春期相談(=27名参加) 周産期医療施設のオープン化モデル事業(=産婦人科の地域医療機関との連携) 医師卒後臨床研修医受け入れ(=2名参加) 	17,18,19,22,24,28,29, 30,31,35,36,38,51,52, 54,55,56,66	<ul style="list-style-type: none"> ・母親学級等の開催 母親学級(=妊産婦指導、妊産婦対象、2回×24コース) 母と子のふれあい講座(=2歳児と母親(1回は父親)のための講座、2歳児と母親対象、9回×3コース) 夫立ち合いのための出産準備クラス(=夫が出産に立ち合う夫婦のための準備講座、妊婦と夫対象、2回×30コース) うさぎの会(=超低出生体重児のための早期介入プログラム、超低出生体重児(2~3歳児)と家族対象、12回) ビーンズの会(=NICUの同窓会、当院誕生児、年1回) タッチケアクラス(=産後の母親・家族支援、乳児と親・祖父母対象、週1回) マタニティピクス(=妊婦のためのエアロピクス教室、妊婦対象、週4回) マタニティストレッチ&ヨガ(=妊婦のためのストレッチ・ヨガ教室、妊婦対象、週4回) アフターピクス(=産後のエアロピクス教室、褥婦対象、週6回) ・母乳相談(=母乳に関する相談・マッサージ、随時) ・妊婦健康相談(=助産師による健診・相談、当院出産予定者対象) ・プレネイタルビジット(=出産前小児保健指導事業、当院出産予定者対象) ・周産期医療施設のオープン化モデル事業(=産婦人科の地域医療機関との連携) ・医師卒後臨床研修医受け入れ ・新人助産師臨床実践能力向上推進事業(=新人助産師に対する研修、当院新人助産師対象)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	2, 3, 9, 10, 19, 26, 50, 51, 52, 53, 58, 60, 61	「母子保健専門指導員研修会」 1 リプロダクティブヘルス 2 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者 1～ 合計73名 開催(配布)数:3回 効果:母子保健専門指導者の育成ができた。	28,29,30,47,51,52,58,59	「周産期医療研修会」 目的・内容:周産期における医療、看護の基本、最新情報を講義、見学実習を通して習得する 対象:医師、助産師、看護師 開催(配布)予定数:3回
	27	「周産期における倫理を考える」 目的・内容:医療、福祉、法律等他分野からの情報により周産期における生命倫理に関する理解を深める 対象:医師、看護師、助産師、保健師、福祉、教育関係者 19名 開催(配布)数:1回 効果:周産期における生命倫理について理解し考察した。		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行う
	17,18,22,24,28,29,30,47,51,52,58,59	「周産期医療研修会」1医師コース 2看護コース 目的・内容:医師、看護師・助産師に対して新生児、未熟児の診断、治療、看護等の最新の理論と技術、情報を提供 対象:周産期医療に従事している医師、看護師、助産師(医師コース 88名、看護コース 195名) 開催(配布)数:医師コース1回、看護コース3回 効果:産科、新生児科の医師が、または看護師が共に学習し討論することで、周産期関係者全体の資質を向上させた。これまで受講した研修生は現在全国各地の周産期医療を担っている。また周産期関係者のネットワークづくりの場ともなってきた。		子ども家庭福祉に関する各種情報の提供 (「愛育ねっと」による情報提供を含む) 「母子保健情報」の発行(年2回) 日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧 対象:子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等、希望者
	50, 51, 52, 53, 55, 67	「児童虐待 予防と発見」 目的・内容:児童虐待を引き起こす要因の把握と予防対策 対象:保健師、看護師、助産師等71名 開催(配布)数:1回 効果:医療、保健の現場での予防と早期発見のポイントについて習得した。		「日本子ども資料年鑑2008」の発行 対象:母子保健・福祉、教育等に従事する人ほか

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・ 子どもの心の問題をテーマに研究を行った 効果：（「日本子ども家庭総合研究所紀要」等に成 果を発表する予定）		
		情報提供 目的・内容： ・子ども家庭福祉・母子保健に関する各種情報収 集、提供 ・ウェブサイト「愛育ねっと」 ・「母子保健情報」の発行 対象：子ども家庭福祉、母子保健関係者（機関、研 究者等） 効果：日本子ども家庭総合研究所が所有している 国内外の子ども家庭福祉関係及び母子保健関連 の情報を提供することにより、より高度な知見が得 られ厚生行政に寄与することが期待される。		
		情報提供 目的・内容：「日本子ども資料年鑑2007」の発行（日 本子ども家庭総合研究所） 対象：母子保健・福祉、教育に従事する人その他 効果：子どもとその周辺に関わるデータを網羅して 提供し、研究、現場を問わず多方面で活用された。		
社団法人全国保健センター連合会	18,19,33,34,35,39,52, 54,55,56,57,60,61,66	父親育児参加推進事業 乳幼児の父親向けリーフ レットの制作配布 目的・内容：保健センターでの育児支援として、父親 のためのパンフレットを制作配布して、育児におけ る父親役割について知識の普及を図る。 対象：乳幼児を持つ父親 配布先：市町村保健センター 開催（配布）数：20万部 効果：両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用さ れ、広く一般に、父親役割の知識普及がされた。	18,19,33,34,35,39,52, 54,55,56,57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレットの制作配布 目的・内容：保健センターでの育児支援として、父親 のためのパンフレットを制作配布して、育児におけ る父親役割について知識の普及を図る。 対象：乳幼児を持つ父親 配布先：市町村保健センター 開催（配布）予定数：2万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象:60名 開催(配布)数:1回3コース(東京都) 効果:女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。	17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象:60名 開催(配布)予定数:1回3コース(東京都)
日本医師会	18	平成18年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成18年12月2日(土) 目的・内容:最近の医療をめぐる動き、産婦人科医療をめぐる法的諸問題 対象:日本医師会員、日本産科婦人科医会会員 参加人数:207人 開催(配布)数:1回 効果:産婦人科医療の抱える法的な諸問題、助産問題について認識を深めることができた。	18	平成19年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催、平成19年12月1日(土) 対象:日本医師会員、日本産科婦人科医会会員 参加人数:200人を予定 開催(配布)予定数:1回開催予定
	18	母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容:母体保護法をめぐる諸問題等について検討 対象:委員14名 開催(配布)数:3回	18	母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容:母体保護法をめぐる諸問題等について検討 対象:委員14名 開催(配布)予定数:3回開催予定
		母子保健検討委員会の開催 目的・内容:周産期医療の充実、特に産科医、小児科医の地域における確保・偏在対策の具体的な提言について検討 対象:委員16名 開催(配布)数:4回 効果:周産期医療充実のための具体的な提言や現状と問題点、その対策などについて検討がなされ、報告書が作成された。		母子保健検討委員会の開催 目的・内容:子ども支援日本医師会宣言を執行していくための具体的な方策について 対象:委員16名 開催(配布)予定数:4回開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
		<p>子ども支援日本医師会宣言(平成18年5月16日、リーフレット作成・配布、7月号の日医雑誌で配布) 目的・内容:母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする 配布先:都道府県・郡市区医師会・日本医師会員他。朝日新聞の折り込み(首都圏版)配布 作成部数:約20万部 効果:日本医師会が取り組む子ども支援宣言について、広く国民へ周知していくことができた。</p>		<p>子ども支援日本医師会宣言 目的・内容:母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする</p>
<p>社団法人 日本家族計画協会</p>	<p>25</p>	<p>東京都・不妊ホットライン 目的・内容:当事者による電話相談を通じ健やか親子21の推進を計る 対象:不妊に悩む当事者、治療経験者。535件 効果:当事者の経験を生かしつつ、本人にしか理解できない問題(特に医療以外の悩み)の解決に至った</p>	<p>2,3,4,8,9,21,22,29,30</p>	<p>電話相談「女性のための健康ホットライン」「思春期・FPホットライン」「不妊ホットライン」「OCサポートコール」 目的・内容:思春期の精神的・肉体的な問題に対する悩み相談及び、一般婦人の健康問題に対する悩み相談 対象:思春期の子ども及び一般 開催(配布)予定数:毎週月～金10:00～16:00</p>
			<p>15,16,20,22</p>	<p>妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業 目的・内容:妊娠・出産についての悩みの相談と安全な出産への相談と指導 対象:一般の妊婦 開催(配布)予定数:全国に4ヶ所の拠点を中心に啓発</p>
			<p>全般</p>	<p>平成19年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容:「健やか親子21」の普及啓発 対象:「健やか親子21」の推進関係者 開催(配布)予定数:新潟県</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
社団法人 日本看護協会	18, 24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容: 母親学級などの教育、運営、ケア提供 / 資源に関する情報提供 / 他職種との協働 / 専門職としての自律と責務 対象: 看護職、定員100名 開催(配布)数: 3日 × 2回 効果: 受講修了者105名	18,24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容: 妊産婦教室などの教育・運営・ケア提供 / 他職種との協働 / 参加型研修体験 対象: 看護職(場合により参加条件付記)、定員50名 開催(配布)予定数: 3日
	18, 24	研修会「フリースタイル出産の援助技術」 目的・内容: 妊娠、出産における看護の役割 / お産におけるEBM / 病院・施設におけるアクティブバース・フリースタイル出産 / 専門職としての自律と責務 / フリースタイル出産の援助方法演習 対象: 看護職 定員100名 開催(配布)数: 2日 × 2回 効果: 受講修了者115名	18,24	研修会「フリースタイル出産の援助技術」 目的・内容: 病院・施設におけるアクティブバース / フリースタイル出産 / 援助技術 対象: 看護職(場合により参加条件付記)、定員50名 開催(配布)予定数: 2日
	22	研修会「先天異常をめぐる周産期看護」 目的・内容: 先天異常と出生前診断 / 先天異常に関わる倫理、カウンセリング / 胎児診断と治療のあり方 / サポートシステム 対象: 看護職 定員120名 開催(配布)数: 2日 効果: 受講修了者82名	22	研修会「先天異常をめぐる周産期看護」 目的・内容: 先天異常と出生前診断 / 先天異常に関わる倫理 / カウンセリング / 胎児診断と治療のあり方 / サポートシステム 対象: 看護職(場合により参加条件付記)、定員50名 開催(配布)予定数: 2日
	24	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容: ・特別講演「母性における世代間伝達の光と影」 ・教育講演「助産師が行うフィジカルエグザミネーション」 ・交流セッション「アロマセラピーとお産に必要な精油」 ・シンポジウム「今、助産師の本領を發揮しよう」 対象: 看護職 定員1,000名 開催(配布)数: 2日 効果: 受講修了者827名	24	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容: 周産期看護、女性のサイクル、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など。 対象: 看護職、看護学生、定員900名 開催(配布)予定数: 2日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	24	母性看護専門看護師の育成 目的：複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する 対象：看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者 効果：修了者4名	24	母性看護専門看護師の育成 目的・内容：複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象：看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者
	25 - 27	研修会「生殖医療と不妊看護」 目的・内容：生殖医療の現状と基礎知識 / 不妊患者への具体的支援（不妊患者の理解、ケアの視点、コミュニケーションの方法、自己決定への支援等） 対象：看護職 定員120名 開催（配布）数：3日 効果：受講修了者51名	24	院内助産推進のための普及啓発 目的・内容：1助産師外来・院内助産の普及促進活動2助産師の就業継続、就業場所の是正に向けた活動 対象：看護職 開催（配布）予定数：未定
	26	不妊看護認定看護師の育成 目的・内容：施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 対象：看護職 開催（配布）数：6ヶ月 効果：修了者12名	24	助産師の質向上に関する検討 目的・内容：「医療機関における助産ケアの質評価 - 自己点検のための評価基準 - 」の改訂版作成・普及、内容・項目等の評価
			25-27	研修会「生殖医療と不妊看護」 目的・内容：生殖医療の現状と基礎知識 / 不妊に悩む人々への具体的支援 対象：看護職（場合により参加条件付記）、定員50名 開催（配布）予定数：2日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
			26	不妊看護認定看護師の育成 目的:施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 内容:共通科目90時間、専門基礎科目90時間、専門科目165時間、演習30時間、隣地実習225時間(合計600時間) 対象:看護職、定員15名 開催(配布)予定数:6ヶ月
日本小児保健協会				第54回日本小児保健学会 社会が子どもにもっとできることー子どもをしゃかひの太陽に、子どものための大作戦 目的・内容:特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、一般演題など 対象:保健師、看護師、医師、保育士、教師、栄養士など小児保健関係、約1500名 開催(配布)予定数:小児保健活動の啓蒙と普及、抄録集2500部。参加者と関係団体に配布
日本助産学会	14,18,22,24,27	研究助成 目的・内容: ・委託研究 「着床前診断に対する女性の認識とそれらを取り巻く社会の現状」 「助産所の出産に関する情報集積システムの構築」 ・奨励研究 「10代妊婦の支援のあり方に関する研究 支援者としての看護者の視点から」 「近年の自然分娩の分娩所要時間の再考と新しい分娩予測指標の作成」 対象:助産師 助成規模:委託研究助成:2件、学術奨励研究助成:2件 開催(配布)数:1回 効果:着床前診断を受ける女性の支援に関する知見が得られた。助産所の出産に関する情報集積システムの構築に関する知見が得られた。自然分娩経過の予測に関する知見が得られた。10代妊婦の周産期における支援に関する知見が得られた。	2,3,9,10,14,15,17~27	研究助成 目的・内容:わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象:助産師、学術奨励研究助成2件、委託研究助成2件 開催(配布)予定数:1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	2,3,4,9,10,17,18,19,2 2,23,24,26,27	<p>第21回日本助産学会学術集会 目的・内容：＜メインテーマ＞「求められる助産師の自律」～地域との連携のもと～ 会長講演「今、求められている助産師の自律」 特別講演「アフリカの助産師の自律を考える」 基調講演「プロフェッションとプロフェッションの教育：専門知の育成と質の向上のための仕組みづくりに向けて」 教育講演「思春期心身医学からみた子育て」「サルのお産と母と子のきずな」 その他、シンポジウム、ワークショップ(3題)、ランチョンセミナー、一般演題(第1課題に関連する演題9題、第2課題に関連する演題121題、計130題) 対象：842名 開催(配布)数：1回開催、平成19年3月10日・11日、ビーコンプラザ(別府市) 効果：「求められる助産師の自律～地域との連携のもと～」のメインテーマを切り口として、現在求められているわが国の助産師の自律や、国際的な助産師の自律、プロフェッションとプロフェッションの教育、思春期心身医学からみた子育て等について講演、シンポジウム、ワークショップが行われた。</p>	2,3,9,10,14,15,17～ 27	<p>第21回日本助産学会学術集会 目的・内容：＜メインテーマ＞誕生 - よりそう助産師の存在 ＜学術集会長＞毛利多恵子氏(毛利助産院) 特別講演「生きる現場で輝く脳の知恵」シンポジウム「誕生を支えるマタニティケアシステム」「助産師の誕生 - 助産教育システムが目指すもの」他、ワークショップ、交流集会、公開フォーラム、一般講演を企画している。 対象：助産師、一般 開催(配布)予定数：開催回数 1回。 開催日：平成20年3月15日(土)・16日(日) 会場：神戸国際会議場(神戸市)</p>
	24	<p>第2回国際助産協働セミナー開催 目的・内容：メインテーマ「助産と国際協力」 講演「世界のSafe Motherhoodの動向と日本の課題」國井修氏 「Safe Motherhood実践的研究とフィールドへの応用」松山章子氏 シンポジウム「出産ケアと国際協力」 対象：助産師他 参加者101名 開催(配布)数：1回開催、平成18年10月14日、長崎大学記念講堂 効果：女性の意志を左右するその国の事情を知った上での国際情勢を考える機会となった。</p>	24	<p>第3回国際助産協働セミナー 目的・内容：ブラジルと日本の助産師の交流会 対象：助産師。国際保健協力に関心のある方 開催(配布)予定数：開催回数 1回 平成19年4月23日 14日(土) 会場：JICA兵庫センター 共催：JICA大阪センター</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,22,23,24	<p>開業助産師の業務測定(タイムスタディ法) ねらい:産科医療の現状を踏まえ助産師の定数化の根拠を明確にするために調査を実施する。 目的:日本における「快適な妊娠・出産・育児」をサポートするための助産師の適正配置数について検討する。 内容:開業助産所助産師の24時間業務調査を実施 2助産師(看護大学修士)による24時間業務の分析及びインタビューによる質的分析 病院勤務助産師の妊婦継続ケアによる業務分析 対象者16名の妊娠・分娩までをグループで継続担当した結果から、助産師業務(所要時間)を分析する。 上記の実態調査について分析中 対象:助産婦 調査日:平成18年8月28日～31日 効果:12の結果と の結果から、助産師の活動のあり方のモデル像を構築し、助産師の必要数等の算定の資料とする。</p>	23,24	<p>緊急時の助産スキルアップコース(予定) 目的・内容:新生児仮死蘇生、会陰縫合など緊急時の助産スキルアップのための研修を行う。 対象:助産師(日本助産学会会員)30名 開催(配布)予定数:開催回数 2回 第1回 平成19年月日未定 東京都 第2回 平成19年3月14日(金) 神戸市</p>
	14,18,24,27	<p>日本助産学会誌発行 目的・内容:1学会誌20巻1号 原著論文、羊水検査を受けることについての女性の価値体系他4編、資料2編 2学会誌20巻2号 原著論文、自然流産後の夫婦が感じた関係変化とその要因 - 体験者の記述内容分析から - 他3編、資料4編 対象:助産師 開催(配布)数:1平成18年6月1500部発行 2平成19年1月1500部発行</p>	2,3,9,10,14,15,17～27	<p>日本助産学会誌発行 目的・内容:1学会誌21巻1号 2学会誌21巻2号 対象:助産師 開催(配布)予定数:平成19年6月1600部発行、平成20年1月1600部発行</p>
			2,3,9,10,14,15 17～27	<p>ニュースレター発行 目的・内容:第53号(平成19年6月1600部発行)、第54号(平成19年10月1600部発行)、第55号(平成20年1月1600部発行) 対象:助産師</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
社団法人 日本助産師会	17,18,19,22,23,24	1. 助産所業務ガイドラインの普及 2. 「医療事故防止に向けて」研修会開催 3. 出産の安全性と快適性に向けた研修会を開催 目的・内容: 助産所業務ガイドラインの周知とテーマに沿った研修会を開催し、安全と快適性を確保できる助産ケアを目指しての研修会を開催した。また、助産所の自己評価および他者評価を実施し、報告事例の共有と事例検討を含めたリスクマネージメント研修を実施した 対象: 会員・非会員助産師 開催(配布)数: テーマに沿った研修会を16テーマで実施した。 効果: 平成18年度厚生労働科学研究から、助産所業務ガイドラインの周知徹底が、未だ不十分である事が分かった。研修会を通して、安全への意識の高まりが見えた。	17,18,19,22,23,24,26	研修会開催 1. 助産師外来・院内助産所を始めるために 2. 助産師の救急対応強化 3. 自然セミナー 4. 東洋医学セミナー 5. 今、助産師に求められる医療安全管理とは 6. 開業セミナー 7. リスクマネージメント 8. 周産期の話題最前線 9. 対話から始まる周産期のリスクマネージメント 目的・内容: テーマに沿った研修会を開催し、妊娠・出産における安全性と快適性を目指す。 対象: 助産師 開催(配布) 予定数: 13回
日本赤十字社	24	助産師養成 目的・内容: 助産師の確保及び育成のため 対象: 助産師を志す学生(平成18年度は65名受験で62名合格。) 開催(配布)数: 助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営。	24	助産師養成 目的・内容: 助産師の確保及び育成のため。 対象: 助産師を志す学生 開催(配布) 予定数: 助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営。
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容: 周産期医療の充実のため。 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布)数: 全国で7赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容: 周産期医療の充実のため 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布) 予定数: 全国で7赤十字医療施設にて設置
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容: 周産期医療の充実のため。 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布)数: 全国で14赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容: 周産期医療の充実のため。 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布) 予定数: 全国で14赤十字医療施設にて設置
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容: 妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布)数: 全国で52赤十字医療施設にて実施。	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容: 妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象: 患者様及びそのご家族 開催(配布) 予定数: 全国で52赤十字医療施設にて実施。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	38,42,43,44,52,54	育児相談 目的・内容:育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため。 対象:患者様及びそのご家族 開催(配布)数:全国で38赤十字医療施設にて実施。	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象:患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で66赤十字医療施設にて実施。
	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため 対象:患者様及びそのご家族 開催(配布)数:全国で66赤十字医療施設にて実施。		
日本母性衛生学会	18,19	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:会長講演「周産期女性の理解」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:妊娠期から産褥期の女性に多く存在する不安とうつ状態について講演し、妊娠期および産褥期の健康支援を模索する糸口とできた。	22	第48回日本母性衛生学会 学術集会 目的・内容:シンポジウム「マタニティケアシステムにおける連携と協働」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(茨城県)
	17	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「最近の妊産婦死亡の傾向」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:総合周産期医療センターでの経験の考察から妊産婦死亡ゼロにむけた臨床的精進の糧を明示できた。	24	第48回日本母性衛生学会 学術集会 目的・内容:シンポジウム「マタニティケアに関わる人材の育成」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(茨城県)
	19	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「こころの病と母性について:うつ病、パニック障害、接食障害を中心に」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:現代のこころの病の傾向から母性衛生に関わる専門職を対象に知識の普及ができた。	18	第48回日本母性衛生学会 学術集会 目的・内容:シンポジウム「リスク社会とマタニティケア」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(茨城県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,19	<p>第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム1「周産期から母子へのメンタルヘルス・サポート」(1)助産師の立場で実践できる妊娠中からの関わりについて(2)妊産褥婦の精神面支援 厚生科学研究における研究成果と産科診療における位置づけ(3)医療心理の立場から:父親も含めた妊娠期からのサポートの重要性(4)精神医学の立場から:プライマリケアにおける産後うつ病のスクリーニングシステムについて 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:様々な職種の立場から産後うつ病に対する取り組み方法やその見極めのポイントについて討議することで今後を展望する一助となった。</p>	25	<p>第48回日本母性衛生学会 学術集会 目的・内容:教育講演「家族誕生とバイオエメディカル」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(茨城県)</p>
	24	<p>第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム3「少子化時代の周産期人材育成」(1)周産期を支える人材の養成 行政の立場から (2)助産師の人材育成は、妊産婦さんに提供するケアの場の獲得から(3)少子化時代の周産期人材育成 現行の助産師の教育から (4)これからの大学病院の周産期医師育成を考える“産婦人科からの提言” 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:助産師の教育について、病院や教育の場、行政の場の取り組みや、周産期医師の育成についての討議から今後の周産期の人材育成について今後の教育のあり方などを展望することができた。</p>	27	<p>第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「生殖医療と倫理」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(茨城県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	22,23,24	<p>第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム4「産科の病診連携～オープン・セミオープンシステム～日本での産科オープンシステムは成り立つのか！」(1)当院における産科オープンシステムの現況 受け手病院の立場から (2)産科オープン・セミオープンシステム 送り手側の立場から(3)患者さんたちは何を望んでいるか 日本産婦人科医会の調査から (4)産科病棟における病診連携～オープン・セミオープンシステム その現状と展望～ 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:各地で行われている産科をめぐる医療安全上の問題の解決法としてのセミオープンシステムの問題点について認識を高めることができた。</p>		
	24	<p>第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:ミニシンポジウム6「周産期医療におけるリスクマネジメント」(1)産科領域におけるリスクマネジメント(2)名古屋大学医学部附属病院周産期母子センターNICUにおけるインシデントの実態分析 (3)あなたもわたしも危機予知トレーニング 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:リスクマネジメントの視点から周産期死亡や母体死亡をとらえ、その対処を討議し、妊産婦死亡の防止に向けた対処について認識を高めた</p>		
	23	<p>第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:ランチョンセミナー「分娩管理と周産期脳障害」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約500名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:分娩時の救急対応について認識を高めることができた。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	17	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:ランチョンセミナー「産科出血 こんなときどうする」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約500名 開催(配布)数:1回開催(愛知県) 効果:産科出血の救急対応について知識を普及することができた。		
	25,26,27	第23回石川県母性衛生学会学術総会 第21回北陸母性衛生学会学術総会 目的・内容:ミニレクチャー「石川県における不妊カウンセリングの現況」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・不妊カウンセラー等 約300名 開催(配布)数:1回開催(石川県) 効果:不妊治療の現状の認識を深め、課題などを見出す機会となった。		
	25,26,27	第23回石川県母性衛生学会学術総会 第21回北陸母性衛生学会学術総会 目的・内容:特別講演「不妊カップルはなぜ追いつめられるのか - 医療者に求められるもの -」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・不妊カウンセラー等 約300名 開催(配布)数:1回開催(石川県) 効果:不妊患者が求める医療者の取り組みを考える契機となった。		
	19	第3回大分県母性衛生学会総会・学術集会 目的・内容:特別講演「女性のうつ病」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(大分県) 効果:女性のうつ病に関する認識を深めることができた		
	18,19	第11回島根県母性衛生学会学術集会 目的・内容:特別講演「周産期の親と子の心を支える」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(島根県) 効果:周産期のメンタルヘルスについて認識を高めることができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	24	第18回兵庫県母性衛生学会 目的・内容:特別講演「産科医療の新しい方向性・ 助産科 - その誕生の背景と実際そして展望 -」 対象:医師・助産師・看護師・保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(兵庫県) 効果:産科医療の新しい方向性について認識を深 めることができた		
社団法人日本産婦人科医会	17,18	妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告 事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を 行い、会員への周知に努めた。妊産婦死亡の実態 について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問 題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活 動を行った。 対象:産婦人科医師(日本産婦人科医会会員) 効果:産婦人科医に注意をうながした。	17,18	妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告 事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を 行い、会員への周知に努める。妊産婦死亡の実態 について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問 題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活 動を行う。 対象:産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	17	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼 児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究 (主任研究者 池田智明)」に参加し、周産期医療シ ステムの再評価と改善を目的に行うわが国の妊産 婦死亡の調査・分析の手法について、協議し決定し た。	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人 科診療ガイドライン作成委員会に参加し、両会会員 など関係者から寄せられた18年度作成したガイド ライン(案)に対する意見や議論を踏まえ本案の改良 を重ね、両会の了解を得て完成を目指す。 目的・内容:産婦人科医師(日本産科婦人科学会、 日本産婦人科医会会員)
	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人 科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周 産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化など を目的とした「産婦人科診療ガイドライン:産科編 (案)」の作成を行った。 対象:産婦人科医師(日本産科婦人科学会、日本産 婦人科医会会員)	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と 不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。
	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と 不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議し た。「健やか親子21」中間評価報告書を支部に送付 し周知に努めた。 効果:運動推進ができた。	18	厚生労働科学研究医療技術評価総合研究事業「産 科領域における医療事故の解析と予防対策」(中林 班)に参加し、安全な分娩環境の整備のため研究を 行う。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18	平成18年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究」の分担研究として「分娩の快適性を重要視する産科医師の意識の実態調査」の中で、分娩の安全性を損なうことのない快適性の研究を推進するため、BFH認定医療機関を対象として、「快適性」について産科医師たちがどのように解釈し医療を実践しているかを把握するため、調査を実施し報告書をまとめた。 対象：全国BFH認定41施設 効果：産科医達も分娩の快適性確保に努力している現況が明らかになったとともに、未だ、快適性の意義が十分、理解されずに行われている現況も明らかとなった。	18	出生前小児保健指導（プレネイタルピジット）事業に関して、日本小児科医会等と話し合いを持ちながら、各支部での活動状況の実態を調査し、有効な活動方法を継続して検討する。
	18	「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワーク作成等について、健やか親子21推進協議会・課題2幹事会を通じて継続的な協議を行った。	18	全国的な新生児聴覚スクリーニング検査の実態アンケート調査の解析を行うとともに、継続して厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」に参加し協力する。
	18	出生前小児保健指導（プレネイタルピジット）事業について、日本小児科医会と意見交換会を行った。また、各都道府県支部での実施状況、指導要項等について検討を行った。 対象：日本産婦人科医会、日本小児科医会 開催数：1回	18	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究（主任研究者 池田智明）に参加し、18年度協議決定事項に基づき調査・分析を行う。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組みテーマ	19年度の取り組み行動計画
	18	パンフレット「新生児聴覚スクリーニング検査のご案内」 目的・内容：厚生労働科学研究「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」班が作成した新生児聴覚スクリーニング検査パンフレットを全国支部を通じ配布し周知に努めた。また、本会HP上で日本耳鼻咽喉科学会がまとめた新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査施設リストへのリンクを行った。新生児聴覚スクリーニング検査の効率的実施にむけて各支部の状況に関し情報収集し検討を行った。 対象：[パンフレット配布]都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。[精密聴力検査施設リスト]一般 開催(配布)数：約5000部 効果：[パンフレット配布]支部より要望があり、周知の効果がみられた。 [精密聴力検査施設リスト]一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。	19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」ホームページに継続掲載する。(日産婦医会ホームページにリンク) 対象：一般
	18,19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」ホームページに掲載した。(日産婦医会ホームページにリンク) 対象：一般 効果：妊産婦に対し、情報として利用できるシステムを整備した。	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し継続して啓発に努める。 対象：一般
	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し周知と普及の啓発に努めた。 対象：一般 効果：普及を期待している。	22,24	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義に関して継続して検討を行った。 効果：医会会員に対して、概念を周知した。	22	母体救急搬送システムの確立を目指して、総合周産期母子医療センターの母体救急搬送受け入れに対する実態調査を実施する。また、母体救急搬送を依頼する診療所および病院に対しても、救急搬送がスムーズに行われているか実態調査を行う 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組みテーマ	19年度の取り組み行動計画
	22,24	新生児蘇生技術の習得に向け、Neonatal Resuscitation Program(NRP) について情報を収集し、平成19年度以降の具体的な推進に向けて検討を行ったケート調査等の協力を行った。	22	NICUに関する諸問題について、対外広報に努めるとともに、昨年度実施した「NICUに関する実態追跡調査」結果を踏まえ行政に対して後方支援システム(施設)の早期構築の実現に向けて今後も活動する。
	22	総合周産期母子医療センター等設置推進のため、全国支部に対し、現状の調査を行いこれを分析した。現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。	22	新生児蘇生技術の習得に向け、Neonatal Resuscitation Program(NRP) について資料を集め推進に向けて検討する。関連学会と協調しながら、モデル地区を設定し、NRP講習会を開くことによって、その普及のための問題点の洗い出しを行う。新生児心肺蘇生法のアルゴリズムについて、冊子にまとめ、ポスターを配付する。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員) 開催(配布)予定数：ポスター配付数約12000枚
	22	厚生労働科学研究医療技術評価総合研究事業「産科領域における医療事故の解析と予防対策」(主任研究者 中林正雄)に参加し、昨年度実施した「妊娠リスクスコア」の適応評価に関する調査を解析し、報告書をまとめ協力施設および支部に送付した。	22	総合周産期母子医療センター等設置の推進。地域毎の充足率の把握を行う。
	22	NICUに関する諸問題について、行政における後方支援システム(施設)の早期構築の実現にむけて積極的な広報活動を行った。現在のNICU長期入院児を把握するため、平成15年度に実施した「NICUに関する実態調査」の追跡調査を行った。 対象：全国248施設(15年度調査時に回答のあった施設)	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努める。(日本早産予防研究会：会長は岡井崇昭和大学教授、世話人として田中常務理事が参加。)
	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努めた。(日本早産予防研究会：会長は岡井崇昭和大学教授、朝倉、田中両常務理事が参加。)	22,24	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	24	ポスター、パンフレット「日本の産科は世界トップクラスなのに、今、安全な分娩管理を受けられないお産難民が50万人？」 目的・内容：産婦人科医師の不足や助産師の偏在による周産期医療の現状について、ポスターやパンフレットを作成し、一般社会に訴えた。 対象： ・都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。 ・一般	24	全国医師会立看護学校に助産師養成コースの開設を推進するための支援を行う。
	24	全国医師会立看護学校の中に助産師養成コースの開設を推進するため、本会支部を通じ支援を行った。	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。
	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。 効果：一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。		
日本母乳の会	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム東京実行委員会・東京宣言草案作成委員会 目的・内容：関東地方の実行委員によるシンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催 第15回シンポジウムを契機に社会への理解を深めるために、東京宣言を作成し、提示していく 対象：参加人数：40 50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、臨床心理士、母親、その他 開催（配布）数：6回 効果：多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、関東地区の母乳に取り組む施設・社会の中で母乳育児への理解が深まってきた	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム富山実行委員会 目的・内容：北陸地区の実行委員会で母乳育児の状況、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催。 対象：参加人数：1回40 60名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他延べ約300名 開催（配布）予定数：開催は6回
	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム富山実行委員会 目的・内容：富山、石川、福井、新潟地区の実行委員によるシンポジウムのテーマ、講演者、内容等の論議。実行委員となった施設での母乳育児の推進 対象：参加人数：50 60名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他 開催（配布）数：6回 効果：関東地区の母乳に取り組む施設の広がり	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウム関西実行委員会 目的・内容：関西地区での実行委員会開催、母乳育児、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催。 対象：参加人数：1回40 50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他 延べ約300名 開催（配布）予定数：開催は6回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容: ・特別講演 中村桂子 JT生命誌研究館館長「生きている」を見つめ「生きる」を考える ・基調講演 杉本充弘 日本赤十字社医療センター産婦人科部長「産科医療と母乳育児」 ・シンポジウム1「母乳育児成功のための10カ条 お母さんの気持ちを育むために」 ・シンポジウム2「母乳育児を続けるために 母子の環境を考える」 ・市民と医療者の交流会「母乳育児にやさしい社会をめざして」 ・母乳育児をすすめるための東京宣言 対象:参加人数:1300名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 効果:母子同室・母乳育児推進。母親たちと医療者たちの交流が行われ、子育て支援が行われた	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容:特別講演1:寺澤捷年千葉大学医学研究院・和漢診療学教授「西洋医学と和漢診療学における身体観」 特別講演2:関根道和 富山大学医学部保健医学教室助教授「富山スタディーから見た食育・母乳育児」 シンポジウム1「母乳育児をすすめるために 施設での取り組み」 シンポジウム2「地域で支える母乳育児」 市民と医療者と交流会「支え、支えられて母乳育児」 対象:参加人数:1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催(配布)予定数:1回
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム・ポスター 目的・内容:全国産科施設に配布し、掲示を依頼 対象:全国大病院、東日本を中心とした産科施設、助産師学校、関東地区のホケンセンター等に配布 開催(配布)数:3000枚 効果:産科関係者に告知できた	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容:広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかける 対象:関東を中心とした産科施設・保健センターに配布 開催(配布)予定数:2000枚
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム市民交流会案・チラシ 目的・内容:東京を中心に母親向けの案内。 対象:保健センター、子育て支援センター、産科施設で配布 開催(配布)数:5000枚	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム、交流会向けチラシ 目的・内容:母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象:母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催(配布)予定数:5000枚

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	第8回、第9回、ワークショップの開催 目的・内容:母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象:各約80名、計160名。母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ 開催(配布)数:2回 効果:宮崎地区、北海道地区で母乳育児に取り組む施設が増え、母乳育児の広がりが期待される。参加者が職場にもどり、母乳育児推進を中心的に担うようになっている	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳育児成功のための10カ条」 目的・内容:母乳育児の普及のために 対象:産科施設、保健センター等 開催(配布)予定数:10000枚
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容:11施設申請、書類審査、現地調査を経て、認定3施設(公立芽室病院、津軽健生病院、舞鶴共済病院)が認定される 対象:母乳育児成功のための10カ条を実践し、BFH認定申請の施設 開催(配布)数:現地調査、8箇所、延べ33人 効果:医師不足の中で、いかに産科井料を守っていくか、助産師、産科医、小児科医のチーム医療として、母乳育児から妊娠、出産、また、子育て支援まで、広がっている。産科医療の危機が言われる中で、新しい産科医療構築のヒントになり、さらに、地域の子育て支援の核となった。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第10回、第11回ワークショップ 目的・内容:母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象:母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ各80名、述べ160名 開催(配布)予定数:開催は2回。第10回愛知県開催10月27,28日、第11回は未定
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	全国BFH会議 目的・内容:40施設のBFHが集まり、問題点や今後の母乳育児推進についての話し合い 対象:BFH施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催(配布)数:1回、約120名 効果:認定後の施設が抱えている問題を共有し、解決に向けての話し合いが行われた。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容:18施設申請、書類審査の結果、訪問審査は、10施設 対象:10施設の現地調査 開催(配布)予定数:現地調査延べ51名
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	先進国BFHI会議出席 目的・内容:先進国で「赤ちゃんにやさしい病院」認定の運動をしている団体によるベルリン会議に4名出席。 効果:世界の情勢がよくわかり、各国にあわせた、母乳育児に取り組む重要性を再認識した。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第3回全国BFH会議 目的・内容:日本における母乳育児のスタンダードの確立。BFH病院での母乳育児の維持、保護のための討議 対象:43のBFH施設および本年認定される施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催(配布)予定数:約120名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	BFH施設での母親満足度調査 目的・内容:厚生科学研究として、BFH施設で出産した母親たちの意識、産後うつ調査 対象:17年度に引き続き、大規模病院のBFH20施設で出産した母親たちの1、3、6ヵ月時の満足度調査 効果:出産の安全性が保障され、母子同室、母乳育児が子育て支援の中核であること、産後うつが少ないことがわかった。	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	糖水・人工乳補充についての検討会 目的・内容:医学的適応として、母乳以外のものを補足するときの問題を研究。
	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容:地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象:産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、保育士、母親、一般市民 効果:地域で母乳育児を推進している医療関係者の知識があがった。母親の育児支援となった。		各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容:地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象:産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他 約5000人 開催(配布)予定数:各地30回
	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容:BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 効果:BFH認定申請がされた	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容:BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象:産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 約300人 開催(配布)予定数:未定
	18,19,24,50,51,52,54,55,56,58,66	第13回、14回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売。ニュースレターを4回、発行 目的・内容:シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売。シンポジウム参加者の増加 対象:産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催(配布)数:1800部 効果:母乳育児への理解が深まった	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第15、16回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容:シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象:産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催(配布)予定数:約4000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	18,19,24,50,51,52,54, 55,56,58,66	ニュースレターを4回、発行 対象:会員(産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民) 開催(配布)数:6000部 効果:母乳育児等、情報を提供。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容:母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象:産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催(配布)予定数:部数未定
			18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	ニュースレターを4回、発行 目的・内容:母乳育児等、情報を提供。 対象:会員(産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民) 開催(配布)予定数:総計6000部
財団法人 母子衛生研究会	1～4,7,19,29,31～ 33,35,42～46,50～ 53,58,63	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容:「健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る。 対象:保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者4,700名 開催(配布)数:25回開催 効果:地域母子保健活動の向上に寄与できた。	17～19,21	「母子保健教室」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象:妊婦および家族 10,000名 開催(配布)予定数:年間56回
	17～19,21	「母子保健教室」開催 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象:妊婦および家族 12,400名 開催(配布)数:82回開催(全国5大都市および近郊) 効果:妊娠・出産・育児に対する不安の軽減と自身を与えることができた。	17～21,28～39,41～ 44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象:妊娠届出の妊婦 130万人 開催(配布)予定数:年間約130万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	17～21,28～39,41～44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容：妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象：妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催（配布）数：全国の市町村等を通じて130万部配布 効果：妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。		
社団法人 母子保健推進会議	15,19,34,43,44,51-55,58,62,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容：厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等。 対象：行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等116名 開催（配布）数：1回開催（高知県） 効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	9,10,15,19,33,34,35,39,40,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象：厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催（配布）予定数：1回開催（新潟県）
	2,3,7,9,10,15,16,18,19,26,52-55,63,66	ブロック別母子保健事業研修会 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。 関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。 内容：食育の推進、親と子の関係性、不妊への支援、地域で取り組む子育て支援、思春期保健等をテーマに講演、シンポジウム 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計853名 開催（配布）数：5ブロック、6会場で開催（福島県・茨城県・岐阜県・岡山県・宮城県・北海道） 効果：最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	2,3,9,10,15,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63,66	母子保健推進員研修会 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催（配布）予定数：12回開催（山口県・佐賀県・富山県・長野県・熊本県・長崎県・鹿児島県・新潟県・群馬県・栃木県・宮城県・沖縄県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,16,19,29, 34,35,50-55,63,66	母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、子どもの睡眠と生活リズム、軽度発達障害の子どもの地域での支援、「生後4か月までの全戸訪問事業」実施に向けた実技実習等をテーマに講演、活動報告等 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 4,150名 開催(配布)数:12回開催:山口県・佐賀県・富山県・長野県・長崎県・松江市・高知県・栃木県・群馬県・熊本県・沖縄県・宮城県 効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	17,19,31,34,35,43,44, 51,52,55,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的・内容:目的:母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容:妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレット 対象:妊婦・乳幼児を持つ親 開催(配布)予定数:各20,000部作成配布
	17,19,28,31,34,35,42- 44,51,52,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的:母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容:妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記載。B6判3ツ折。 対象:妊婦・乳幼児を持つ親 開催(配布)数:各20,000部制作・配布 効果:母子保健推進員等が妊婦・乳児のいる家庭を訪問する際の配布教材。母親に必要な情報を伝達する手段として活用されている。	2,3,6,8,9,15,16,33- 35,39,40,43,44,50- 55,58,63,66	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援 内容:県レベル協議会が設立されて間がない沖縄県母子保健推進員連絡協議会に対して100,000円の助成を行う。 対象:沖縄県母子保健推進員連絡協議会 開催(配布)予定数:1回
	2,3,8,9,15,16,33- 35,39,40,43,44,50- 55,58,62,63	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援、 内容:県レベルの母子保健推進員組織がある県に対し、最長5年まで100,000円を助成。 対象:沖縄県母子保健推進員連絡協議会 開催(配布)数:1回 効果:県レベル協議会設置、育成により市町村間の母推の交流が生まれ、意識と資質が向上、活動が活性化。	2,3,9,10,15,16,19,33- 35,40,50-58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数:12回(毎月1回1日発行)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,16,19,33, 34,35,40,50-58,63	地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資 質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提 供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会 の報告など。 対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体へ毎月 10,000部発行 開催（配布）数：12回（毎月1回1日発行） 効果：行政、専門職からの情報、地域における母子 保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの 反響が寄せられている。	7,9,10,15,19,34,39,40 50-55,58,62,63	海外からの視察団の受け入れ 目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推 進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保 健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保 健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意 識の高揚につなげる。 内容：（財）家族計画国際協力財団に協力し、先駆 的に母子保健推進員活動を展開する県に視察団の 受け入れを依頼し、同県の母子保健推進員等との 交流を図る。 対象：リプロヘルス指導者セミナー：高知県、BCC （母子保健にかかわる行動変容を促す）セミナー：沖 縄県、母子保健推進員活動視察：和歌山県 開催（配布）予定数：3回（7月、8月、11月）
	7,9,10,15,19,34,39,40 50-55,58,62,63	海外からの視察団の受け入れ 目的：地域母子保健活動、及び母子保健推進員活 動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等 の意識の高揚を図る 内容：（財）ジョイセフに協力し、先駆的に母子保健 推進員活動を展開する県に視察団を3回受け入れ、 交流を図った。 対象：リプロヘルス指導者セミナー：山口県、BCCセ ミナー：沖縄県、母推：和歌山県 開催（配布）数：3回 効果：計18か国の母子保健関係者に日本の経験を 伝え、保健師、母推と交流、母推が発足した国も。 日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高 揚にも。	16,19,34,35,39,50- 55,58,62	母子保健啓発教材の制作・頒布 目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員 活動の円滑な推進を図る。 内容：母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳 幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作 し頒布する。 対象：市町村母子保健主管課 開催（配布）予定数：随時
	16,19,34,35,39,50- 55,58,62	母子保健啓発教材の制作・頒布 目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員 活動の円滑な推進 内容：妊娠中、及び乳幼児を持つ母親を支援するた めに必要な教材を制作し頒布。 対象：新作2種類、改訂5種類 開催（配布）数：随時 効果：母子保健推進員への知識・情報の提供、訪 問時に必要な教材を制作し、活動に役立てられて いる。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組みテーマ	19年度の取り組み行動計画
日本糖尿病・妊娠学会	18	<p>満足できる妊娠・出産への支援 目的・内容： ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらおう努力を行う。 対象：平成18年11月24日、25日「第22回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、日本都市センター（東京）、約260名参加（専門職対象） 開催（配布）数：1回開催 効果：糖尿病と妊娠に関する学理およびその応用の研究についての発表、知識の交換、会員相互の交流、情報等の提供、啓蒙活動を行うことにより、糖尿病およびこれに準ずる病態を有する妊婦の管理とその児の安全性確保等の進歩に成果をもたらした。</p>	18	<p>満足できる妊娠・出産への支援 目的・内容： ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらおう努力を行う 対象：「第23回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、平成19年11月23日、24日、大阪国際交流センター、約400名参加予定 開催（配布）予定数：1回</p>
日本母乳哺育学会	18,58	<p>第21回日本母乳哺育学会 学術集会 公開講演会「母乳哺育をみつめ直そう」 目的・内容：学会中一般公開を設け、実際に母乳哺育をおこなった母親の体験をもとに、市民と親との交流をはかり、育てる側にたった母乳育児支援について討論する。 対象：一般・保育関係者・小児科医・産科医・助産師・保健師等 約250名 開催（配布）数：1回開催（長野県）、健やか親子21のパンフレット配布。 効果：職種や考え方の違いをこえ、母乳育児支援について力を合わせて行うことにおいて認識を高めることができた。</p>	18,58	<p>第22回日本母乳哺育学会学術集会「こんなにできる母乳育児」 目的・内容： ・母乳哺育推進と母乳の意義に関する研究活動として学術集会を行う。 ・母乳困難に対する対処について討議する。 対象：日本母乳哺育学会員と関連施設の関係者、延べ500名程度 開催（配布）予定数：年1回</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
全国母子保健推進員等連絡協議会	15,19,34,43,44,51-55,58,62,66	<p>全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会</p> <p>目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。</p> <p>内容：厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等。</p> <p>対象：行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等116名</p> <p>開催(配布)数：1回開催(高知県)</p> <p>効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場となり意識の向上にも繋がった。</p>	9,10,15,19,33,34,35,39,40,43,44,50-58,60-63,66	<p>全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会</p> <p>目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。</p> <p>内容：全国の母子保健推進員の活動報告</p> <p>対象：厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名</p> <p>開催(配布)予定数：1回開催(新潟県)</p>
	2,3,7,9,10,15,16,18,19,26,52-55,63,66	<p>ブロック別母子保健事業研修会</p> <p>目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。</p> <p>内容：食育の推進、親と子の関係性、不妊への支援、地域で取り組む子育て支援、思春期保健等をテーマに講演、シンポジウム</p> <p>対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計853名</p> <p>開催(配布)数：5ブロック、6会場で開催(福島県・茨城県・岐阜県・岡山県・宮崎県・北海道)</p> <p>効果：最新の情報を取得するとともに、近隣の母子保健関係者が集まることで連携を深める機会となった。</p>	2,3,9,10,15,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63,66	<p>母子保健推進員研修会</p> <p>目的：母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会を後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告</p> <p>対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度</p> <p>開催(配布)予定数：12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・熊本県・長崎県・鹿児島県・新潟県・群馬県・栃木県・宮城県・沖縄県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,16,19,29,34,35,50-55,63,66	<p>母子保健推進員研修会</p> <p>目的:母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会に後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図ることを目的とする。</p> <p>内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、子どもの睡眠と生活リズム、軽度発達障害の子どもの地域での支援、「生後4か月までの全戸訪問事業」実施に向けた実技実習等をテーマに講演、活動報告等</p> <p>対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 4,150名</p> <p>開催(配布)数:12回開催:山口県・佐賀県・富山県・長野県・長崎県・松江市・高知県・栃木県・群馬県・熊本県・沖縄県・宮城県</p> <p>効果:母子保健推進員の資質の向上と他市町村の母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。当研修会で学んだこと、得た情報は、日々の活動に即、役立てられている。</p>	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63,66	<p>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</p> <p>目的:母子保健推進会議が発行する同紙の制作に協力し、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声などを掲載。</p> <p>対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ月10,000部発行</p> <p>開催(配布)予定数:12回(毎月1回1日発行)</p>
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50-58,63	<p>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</p> <p>目的:母子保健推進会議発行の同紙制作に協力、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。</p> <p>対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体へ毎月10,000部発行</p> <p>開催(配布)数:12回(毎月1回1日発行)</p> <p>効果:行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、母子保健推進員等の学習、情報収集のツールとして日々の活動に役立てられている。</p>	7,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,62,63	<p>海外からの視察団の受け入れ</p> <p>目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員等が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。</p> <p>内容:(財)家族計画国際協力財団、(社)母子保健推進会議に協力し視察団の受け入れ、各県(3県)母子保健事業ならびに母子保健推進員活動野実際を紹介すると同時に、視察団と各県母子保健推進員等との交流を図る。</p> <p>対象:リプロヘルス指導者セミナー:高知県、BCC(母子保健にかかわる行動変容を促す)セミナー:沖縄県、母子保健推進員活動視察:和歌山県</p> <p>開催(配布)予定数:3回(7月、8月、11月)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	7,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,62,63	<p>海外からの視察団の受け入れ 目的:地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る 内容:(財)ジョイセフ、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母推活動を紹介するとともに交流を図った。 対象:リプロヘルス指導者セミナー:山口県、BCCセミナー:沖縄県、母推:和歌山県 開催(配布)数:3回 効果:計18か国の母子保健関係者に母推活動を紹介し交流、母推が発足した国もある。日本の母推も日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚に繋がった。</p>		
FOUR WINDS乳幼児精神保健研学会	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	<p>第10回FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会 全国大会in宮崎 目的・内容:テーマは「育ちの中のあまえ」。Tuula Tamminen氏(フィンランド)、渡辺久子(会員)他の講演を中心にした研修研究会。 対象:会員および非会員 延約1000名 開催(配布)数:1回 効果:人間の心の根幹が、乳幼児期の親子の心の響きあいにあること、混乱をおこした乳幼児期の親子に対する介入の方法などについて学んだ。</p>	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	<p>FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第11回全国大会in 栃木開催 目的・内容:テーマ「乳幼児精神保健のさらなる発展をめざして」。Frans Plooijs氏(オランダ)、慶応義塾大学渡辺久子(会員)の講演を中心にした研修研究会。 対象:会員および非会員 開催(配布)予定数:年1回</p>
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	<p>FOUR WINDS 乳幼児精神保健セミナー 第3回、第4回、第5回、第6回 目的・内容:Stephen Malloch氏講演会・Kenneth Aitken氏講演会 ・事例を中心にした検討会 対象:会員および非会員 各約40～80名 開催(配布)数:4回 効果:混乱をおこした乳幼児期の親子に対する介入方法を具体的に学んだ。</p>	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	<p>FOUR WINDS 乳幼児精神保健セミナー開催 第7～10回 目的・内容:2007.6.8.11月2008.2月に開催予定。会員の活動現場からあがった事例を中心に検討、研修する。 対象:会員および非会員 開催(配布)予定数:年4回</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み実績	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み行動計画
	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,61,66,67	冊子「母・乳児とコミュニケーション的音楽性」の発行 目的・内容:2005年度FOUR WINDS 全国大会に招聘、更に2006年4月の特別講演会講師として来日したStephen Malloch氏の文献をまとめた冊子。 対象:会員・非会員 開催(配布)数:約500部 効果:親が子どもの世界に没頭して楽しんでいる子ども相手の行動の中に親子関係で一番大切な心の響きあいがある事を学んだ。	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,61,66,67	学会誌の発行 目的・内容:会員に対する乳幼児精神保健の啓発を目的として発行する。 対象:会員380名 開催(配布)予定数:約500部
	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,61,66,67	NEWS LETTER of FOUR WINDS の発行 目的・内容:会の運営を担う世話人会で議論し、決定された議事内容を会員に知らせる目的で発行。 対象:会員380名 開催(配布)数:380部×2回 760部 効果:今後の乳幼児精神保健のあり方について、会員それぞれの立場において認識を高めることができた。	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,61,66,67	NEWS LETTER of FOUR WINDSの発行 目的・内容:会の運営を担う幹事会で討議、決定した事項を会員に知らせる事を目的として発行。 対象:会員380名 開催(配布)予定数:(年2回発行)約760部
日本未熟児新生児学会	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容:新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象:全会員(2924名) 開催(配布)数:11月26日～28日に開催	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容:新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象:全会員(約3,000名) 開催(配布)予定数:11月24～26日に開催予定。
財団法人 児童育成協会	18	マタニティー・スイミング・クラスの開設 目的:妊娠中の女性の健康と快適な生活維持の支援 使用会場:こどもの城体育事業部25メートルの温水プール 料金:12,000円/月 検診:水泳の前後に産婦人科医師・助産婦による問診・血圧・脈拍・胎児心拍・体重測定 その他のケア:必要に応じ栄養相談や出産準備についてのレクチャーも実施 対象:妊娠16週以降の女性、参加者年間のべ1,375人 開催頻度:週1回(1時間)	18	マタニティー・スイミング・クラスの開設 目的・内容: ・目的:妊娠中の女性の健康と快適な生活維持の支援 ・使用会場:こどもの城体育事業部25メートルの温水プール ・料金:12,000円/月 ・検診:水泳の前後に産婦人科医師・助産婦による問診・血圧・脈拍・胎児心拍・体重測定 ・その他のケア:必要に応じ栄養相談や出産準備についてのレクチャーも予定 対象:妊娠16週以降の女性、参加者見込み 月間平均30人、年間延べ300人 開催(配布)数:開催頻度:週1回(1時間)